



2002 12 DECEMBER Bulletin

2002年12月1日 発行
第6巻 第6号 通巻66号



今月の聖句

マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。
この子は自分の民を罪から救うからである。

マタイによる福音書 1章21節

クラブ会長標語 「再考、再構築！(Let's Review and Rebuild!)」 クラブ会長：河本 英規

国際会長標語 "Growth through service" 「奉仕による成長」 国際会長：ビル・ワード

アジアエリア会長標語 "Into the bright light of selflessness" アジア会長：ジョン・L・チョア

西日本区理事標語 "Act together within community towards the same goal" 西日本区理事：白井 征郎

「ベクトルを合わせ、地域と共に活動を」

西日本区理事：白井 征郎

京都部部長標語 「更なる友情を求めて」 京都部部長：戸田 昌伸

「感動してますか？」

会計 小幡 弘



激動の2002年も後僅か。ミレニアムだ、世紀末だの騒ぎも遠い昔のような気がします。街はクリスマスモード一色に染め上げられ、長引く不況もどこ吹く風の慌ただしい年の瀬です(実は今11月3日ですが・・・)。

この夏フジTVが81年からの「北の国から」シリーズを数日間に渡り一挙オンエア。そして完結篇と言える「北の国から 2002 遺言」の放映。私はこの手の辛気臭いドラマは見ない主義なんですが今回は見ましたよ。皆さん見ました？感動しました？泣きましたか？

まさに倉本聡ワールド。人間とは、家族とは、そして愛とは？見方はそれぞれですが黒板家の一冊のアルバムのような番組作り。登場人物の中に観客自身の人生をクロスオーバーさせ、忘れていた大切な何かを引き出す。

そして最後の五郎(田中邦衛)の生前遺言「お前らには上手く言えんが、残すものはもう残した気がする。金や品物は何も残せんが、残すべきものは全て伝えた気がする・・・」

とナレーションが流れてハッピーエンド。これがまた涙モンなんですわ！ ラーラーラララ by さだまさし

ともすれば現代社会から弾き出された人間とも取れなくは無いが、大自然に身を置く人間の本来あるべき姿、家族そして人間愛を再認識させる作品でした。

忙しさに覆い隠された心の余裕、ウルウルするほどの爽やかな感動。忘れていませんか？種類は違えど西日本大会ホストをやり遂げた感動、また別の形で味わいたいものです。

例会出席	BFポイント	ニコニコ	ファンド	会長 河本 英規
11月第1例会 28名	切手 0pt	11月第1例会 18,000円		副会長 井上 晴雄
11月第2例会 26名	切手累計 0pt	11月第2例会 8,000円	11月分 0円	書記 田中 まり子
在籍者数 32名	現金 0pt	累計 79,700円	累計 60,250円	伊藤 剛
	現金累計 0pt			会計 小幡 弘

11月第一例会「5周年記念例会」

岡田 正義

「5周年記念例会」と銘打った11月第1例会は、親クラブのウイングからの多数のゲストを迎えての開催となりました。5周年記念事業として、YMCAに100万円の寄贈が河本会長より阿部Yに手渡され始めました。トゥービークラブ設立委員長・同チャーターナイト実行委員長・当時の会長の挨拶。それに続く設立当時の秘話は、「天下分け目の関が原の合戦」のよう似てるやん・・・と思いながら、大変おもしろおかしく聞かせていただきました。ところで、誰が家康で、三成で、秀秋だったんでしょうかねえ？新しい組織を作ることの難しさを感じられ、それを楽しむ(?)当時のメンバーのパワフルな一面が垣間見れる貴重な話、ウイングのみなさんありがとう！ご苦労様でした。



さていよいよ当クラブ歴代会長のスピーチ。まずは初代・二代会長杉村Y。夢見る少年の心を持ったまま大人になった彼らしく、人の一歩も二歩もを先行く秘策をこめたような話。三代山内Y代行の何が何やらわからんままになって終わってしまった話。四代重野Yの「ジゴロのうわさ」を感じさせない誠実な話。(見てくれのいい男は得やなあ・・・)五代古田(元)Yの元気あふれる話。(やめてからのほうがY'sらしいんと違うのん?)六代岡本YのY'sに対する熱い想いのこもった話。(次世代の区理事は、あんたで決まり!!)河本現会長の・・・井上次期の壇下からの挨拶ならぬタイミングを極めた合いの手。(人はそれをヤジと呼ぶ)水戸光一公の“きらきらひかる”。etc・・・と、当然ながら今期イチオシの例会でありました。みんなホンマに話がウマイなあ～...と思いつつ閉会となりました。

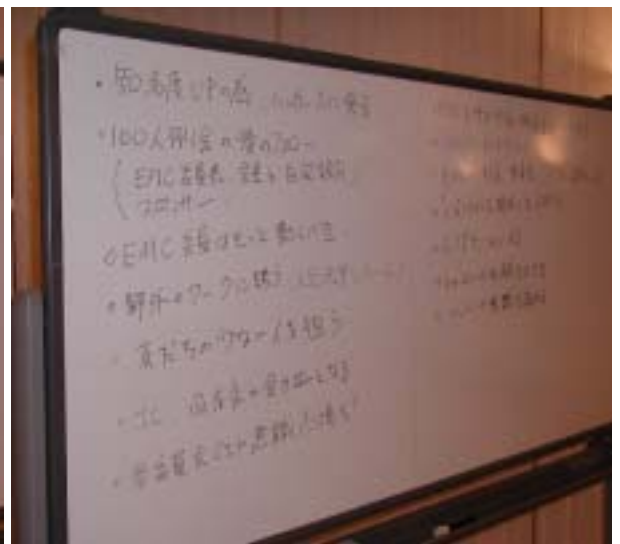
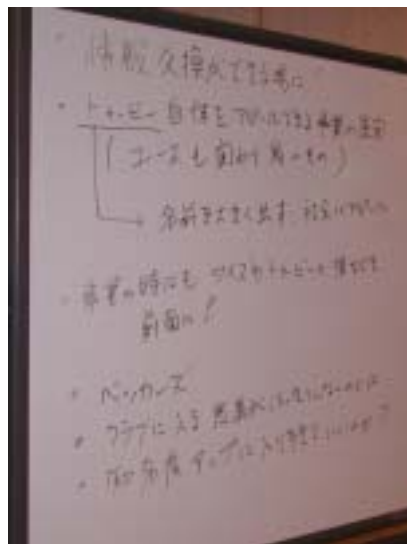
11月第二例会「EMC例会」

小林 勝之



寒かった今年の秋を忘れさせるような暖かい一日となった11月27日、京都全日空ホテルにおいて11月第二例会が行われました。本日の例会はEMCアワー。クラブにとっていろんな意味においても基礎になるEMC、3名のスピーチの後4グループに分かれてのグループ討論会になりました。まず委員長の岡本ワイズから先日行われましたEMCタイム in 居酒屋の報告、小原ワイズから人集めの方法について、自分たちの活動が如何に世間に知られることで信頼を受けることができるのかを、小原ワイズは自分の仕事で経験された貴重な体験談を話されました。最後に田中光一ワイズがスポンサーの達人として、テクニシャン光一の極意を話されました。その後のグループ討論会ではメンバーを如何に増強するかの一点にテーマを絞って討論致しました。

討論会後の意見発表では、メンバー増強の方法として、クラブ知名度のup、100人例会後のフォロー、ワイズ以外の団体の受け皿、例会の内容や呼びやすい人はこんな人まで、数多い意見が発表されました。メンバー一人一人がToBeクラブを今のままでは満足せずもっと上を目指そうと思う上昇志向が感じられる例会になりました。最後に岡本委員長から今後EMC委員会だけではなく、もっと常に個々メンバーがクラブの在り方を話できる、いわゆるダムることを頻繁に行いましょうとの言葉で閉会致しました。そうこの頃、ダムること少なくなったと思います、おそらく意見交換こそクラブ活性化の一番の近道のように私も思います。



R U N E M C !

EMC 委員長 岡本就介

11月6日(水) がんこ三条本店にて「みんなでダムろう! EMCタイム in 居酒屋」が開催されました(参加者伊藤・井上・大野・岡本・小幡・国松・小林・辻・坪木・畑本ノ五十音順・敬称略)。非常に有意義かつ内容の濃い議論が交わされ、この会を定例的に開催してほしいというありがたい要望を参加の皆さんからいただきました。

「EMCの 部屋」改め「EMCタイム(仮称です。誰かいい名前考えて!)」開催と時を同じくしてプリテンからもEMCに関する連載の要請をいただきました。EMCに関しては今までに多くの先輩ワイズメンが残した文献がありますが、最初のうちはあえてそれらに解答を求めず、トゥービーメンバー自身の頭と言葉で考えていきたいと思います。EMCタイム(仮称。しつこい!)ではテーマを提起していき、そこにどんと意見・訂正・反論を寄せていただきたいと思っています(HP掲示板での討論を提案します!)

前置きがずいぶん長くなってしまいました。

今回は主に<メンバー増強>について話し合いましたが、そのための方法を色々考えるうち、メンバー自身に「メンバー増やすぞ!」という意識があまりないのでは?という意見が出ました。そも、何のためにメンバーを増やすのか? 気の合う仲間と楽しく事業したり親睦したりでいいんじゃないの?・・・という意見の人は当然ながら参加者には皆無。メンバー増強を進める理由、または40名超のメンバーが必要な理由について列挙してもらいました。

(メンバーが変わらないと)いつか飽きるから

健全な委員会を運営するためには各委員会5人ずつ、計35人+三役で40名以上必要

役員と役員以外のメンバーが1:2ぐらいでないと、同じ人ばかりが役員になるし総会もシャンシャンになりがち
金銭面で会の運営がラクになる

世代の断層が出来ると新メンバーがますます入りにくくなる

アイデアの達成(自己研鑽)のため、常に新しいメンバーと交わる必要がある

何のためにメンバーを増やすのか? という意識付けをしっかりとすることが、結局メンバー増強の近道ではないかと思えます。さらなる議論の深まりと、そして具体的なアクションを望みます。もちろん自分にも。

紅葉を満喫「リトリートセンター オータムフェスタ」

YMCA リトリートセンターにて今年もオータムフェーが開催されました
ToBe クラブからも多数のメンバー・メネット・コメントの参加があり大いに盛り上がった一日でした

何と言っても『羊の丸焼き』今年も杉村 Y's の協力により遠く北海道より直送の新鮮な子羊が届き参加者の胃袋を満たしました。

今年の焼け具合はシェフも満足の焼けとの事、美味、美酒に酔いました。

当日は、YMCA の周年事業の年度にあたり色々PR がなされ 善意の募金も多数?集まったようです。



今回のフェアーに参加させていただくのは今年で3回目になりますが毎年何とか天候にも恵まれ盛会の出来です。日ごろお会いできない多クラブのメンバーとの交流、また情報交換の場として素晴らしいプログラムです。今後も継続し益々盛り上げて行きたいと思っております。ただ、残念なことに 例会以外のプログラムでのメンバーの顔ぶれが何か偏っていると思いませんか?? 皆さんもっと楽しく積極的にご参加ください。

参加しなければ 良し悪しは解りませんよ

ToBe クラブも5歳になり益々飛躍しましょう!!

“ババキム”コト 木村 務(YMC サービス委員会)



ワイズデー国際協力街頭募金（11月10日）

京都YMCAでは毎年世界中の苦しむ人たちの為に募金活動を行っています。今回はその国際協力募金の一環として街頭募金を行い、災害により飢餓や世界の開発途上国の支援や、紛争などで難民となっている人々の救援ため、社会参加を自立のために役立つよう日本YMCA同盟を通じて活用されます。

さてこのような趣旨の下、我がTOBEクラブは京都市内の主要20ヶ所中、烏丸御池南東と北大路ビブレ前の2ヶ所に分かれて12時30分～14時30分の2時間募金活動を行いました。

烏丸御池では、フィールドアドベンチャーの子供たちの力を借りて、23,377円。一方北大路ビブレ前では、ネイチャーライフファミリーのメンバーと宮越一家のご協力により25,845円。この経済不況の中、街の皆さんの温かいご支援で募金することが出来ました。

TOBEクラブ メン・メネット・コメット	13名
リーダー・フィールドアドベンチャー、ネイチャークラブファミリーの子供たち	64名
京都YMCA集計	総勢420名、合計募金額717,895円 でした。

(^o^)^ご協力ありがとうございました(^o^)^

～連載企画～ プロフェッショナル大いに語る

「真のプロフェッショナルであるためには」

重野 文彦



我々は、何がゆえに毎日働き、仕事に対してどうなっていきたいか？常に根本に持ちながら、一つ一つ上を目指して積み重ねていく。あるときは言いようのない挫折感を味わい、又チャレンジ精神を持って自分の目標に向かって自分自身のステイタスを追いつける。ここ数年来続く不況の中、今まで当たり前のように思ってきたことが当たり前でない。いいかげんな商売してきたものは知らぬ間に消えてゆき、今までは何をしておいても守っていかなければならなかった「信用」。その「信用」を捨てその場の益を得ようとするとなんでもない経営者も少なくないように思います。

たとえば、商売上のトラブルが発生したとき、原因は自分のところの外注先が100%のミスとしよう。しかし、クレームの最終責任は自分の所と得意先。そんなときに大損がかぶってくるからといって信用そっちのけで逃げるといったことが平気でできる人を身近に見ました。基本的には我々の仕事は継続的な商売のつながり、積み重ね。得意先とのお互いの信頼関係によって成り立つものだと思います。1円でも仕事に対してもらえばプロ。いかなる場合でも責任がついてまわり、それがゆえにお互いの「信用」が成り立つものと確信いたします。それが無いものには仕事の向上は無いと思います。ここ数年の間に経験した事を基にして所感を述べてみました。

さて、自分の会社はどうか。業界の中で右も左も分らない状態でスタートした15年前。決まった得意先があるでなし、2台の機械で始めました。ちょっとしたツテ、紹介で営業に出たい知識も無く、しかし会社を構えている以上しつたか半分、分らないままに仕事を受け、戻ってから色々な人に聞いて教えてもらう。失敗も多かったけれど、それだけ自分の身につく部分も多かったし、型にはまらない思い切った物作りができたのも今から思えば知らぬものの強みかなと思う。ただがむしゃらに実績を作る為にいろんなものに挑戦してきたし、14年経った今もその姿勢を崩すことなく、気持ちを持って今も尚「実績作り」に励んでいます。短納期の上に今の時勢、短納期に拍車がかかりいかにそれをこなしてものにしていくか。むちゃくちゃな納期の仕事にも直面するが持論として自分ができる判断した事は責任を持って受け、受けた以上はいかなることがあってもグチや文句を言わない。もしそう言うことを言うのであれば受けなければいいし、それを言っている姿ほどぶさいくなものは無いと思う。そんな事が自分なりのプロフェッショナルかな？まだまだプロフェッショナルと言えるかわからないが短い期間ではあるがその間に得たものは良い事にしろ、悪い事にしろ自分の宝だと思おうし、益々上を見てがむしゃらに進んでいかなければならないと考えます。ここまで来ることができた最大の要因と言えややはりワイズに入れてもらい、同年代のメンバーをライバル視し刺激を受ける事ができたことが一番ではないかと思ひますしすばらしい事だと思います。

わいわい楽しむ親睦の中にも、常にそう言う気持ちを持ってクラブに関わっていく事が大切ではないかと思ひます。

最後に、良い時も悪い時も自分の姿勢をできるだけ崩さない事が必要に思ひ、この厳しい今の時世を生き抜くのに大事な事ではないでしょうか。

---INFOMATION---

12月例会案内

第1例会 「三役アワー例会」

半期を振り返って・・・

場所 全日空ホテル
日時 12月11日(水) 登録:18:30~ 開会:19:00~
登録費 ゲスト・メネット5,000円

第二例会「クリスマス例会」

今年も楽しい企画盛りだくさん!

場所 全日空ホテル
日時 12月22日(日) 登録:17:30~ 開会:18:00~
登録費 ゲスト・メネット6,000円
(メネットは3,000円が補助されます)
中学生・高校生 4,000円
小学生 3,000円
幼児 2,000円

Happy Birthday

小林 勝之・・・12月7日
木村 務・・・12月23日
宮越 寛・・・12月29日

Happy Anniversary

河本 英規 & 円・・・12月1日
山内 哲 & 紀子・・・12月19日



YMCA NEWS

1. 会員クリスマス

京都YMCAでは、今年もクリスマスのプログラムを行います。一般の方もご参加できます。ご家族、お友達で是非ご参加ください。

クリスマス礼拝とキャロリング

日時 12月20日(金) 受け付け 午後6時15分
開始/ 礼拝午後6時45分から

場所 京都YMCA三条本館

詳しくは会員部(電話075-231-4388)までお問い合わせください。

2. KYOTO YMCA NEW YEAR CHARITY CONCERT

みんなのものがひとつとなるために~

このコンサートの収益金は京都YMCAの奉仕活動基金、国際協力募金として用いられます。

日時 2003年1月17日(金)

開場 午後6時 開演 午後7時

場所 京都コンサートホール 小ホール

入場料 2,000円〔全席自由・ワンドリンク付〕

出演 西脇小百合(ピアノ)・田村安祐美(ヴァイオリン)・大菅亜希子(ピアノ・伴奏)・祐森由香(ソプラノ)

チケット発売場所 三条本館・青少年センター

お問い合わせは 京都YMCA 三条本館 まで

〒604-8083 京都市中京区三条通柳馬場角

電話 075-231-4388

3. スキーキャンプ参加者募集中!

各スキーキャンプ受け付けは電話075-231-4388まで

- A. 白山スキー 初心者~初級者向き
- B. ちびっこスキーB 初心者~初級者向き
- C. 少年スキーB 初心者~初級者向き
- D. パワフルスキー 初心者~初級者向き
- E. 中高生スキーB 初心者~中級者向き
- F. チャレンジスキーB 中・上級者向き

4. 春休み小豆島少年少女キャンプ参加者募集中!!

カヌー・ヨット・釣りなどのマリンスポーツと山菜取り、島内めぐりなど瀬戸内海の余島での楽しいキャンプです。

神戸YMCAの子ども達と一緒にキャンプを過ごします。

日程 A 2003年3月28日(金)~31日(月) 3泊4日

B 2003年3月31日(月)~4月4日(金) 4泊5日

場所 神戸YMCA 余島キャンプ場

(香川県小豆郡土庄町字余島)

対象 A 小学1年生~6年生 男女20名

B 小学2年生~高校3年生 男女20名

参加費 A 48,800円 B 54,000円

会員外の方は別途シーズン会費2,000円が必要です。

お申込み・お問い合わせ 京都YMCAウエルネスセンタ

電話 075-231-4388

編集後記

このブリテンが発行される頃当店はOFFに入ります、10月、11月にぎやかにしていただいたゲストの皆様へ感謝。(杉)
東福寺に紅葉狩りに行きました。駅で通天橋の通行券を買ったのは正解でした。(徳)

先日の例会の2次会において、お褒めの言葉をいただきました。ありがとうございます。わけがわからんままに編集をしてきましたが、今期ももう半分終わろうとしています。あと6号、皆さん原稿は締め切りをまもってくださいね。(か)